

復員廳第二復員局公報

第一九號

昭和二十一年八月一日
第二復員局文書課

○令 達

復二第一三四號

復員廳分課規程中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年七月三十一日

復員廳 總裁

別紙第二第二十八條ノ表中佐世保地方復員局ノ項掃海部ノ欄「佐世保」ヲ、舞鶴地方復員局ノ項掃海部ノ欄「七尾、新潟」ヲ削ル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

○通 牒

復二第一三五號

復員廳地方復員局定員表(内譯)中次ノヤウニ改正サレタ。

昭和二十一年七月三十一日

復員廳第二復員局長

佐世保ノ部中佐世保掃海部ノ項ヲ削リ「三三三」ヲ「三〇二」ニ、「九四五」ヲ「七九〇」ニ、「六四〇」ヲ「一、五三〇」ニ、舞鶴ノ部中七尾掃海部及ビ新潟掃海部ノ各項ヲ削リ「一七

六」ヲ「一五六」ニ、「四二五」ヲ「三八」
「八八七」ニ、計ノ項「一、三三二」ヲ「一、
二〇」ヲ「三、五二九」ニ、「六、五二三」ヲ「七
改

(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第一三六號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關スル件中次ノヤウニ改正サレタ。

昭和二十一年七月三十一日

復員廳第二復員局長

佐世保地方復員局ノ項「七二」ヲ「四一」ニ、「三五二」ヲ「一
九七」ニ、舞鶴地方復員局ノ項「二五」ヲ「五」ニ、「二〇一」
ヲ「一六五」ニ、計ノ項「三〇九」ヲ「二五九」ニ、「一、四七
二」ヲ「一、二八一」ニ改メラル。

(參照 六月十九日第二復員局公報)

二復員主第六號ノ七六

昭和二十一年七月十六日

復員廳第二復員局公報 第一九號 昭和二十一年八月一日

四三

1698

復員廳第二復員局人事部長
復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長 殿

外地ニオイト死亡シタ軍人軍屬ノ所屬遺留金
等ノ取扱ニ關スル件照會

首題ノ件ニ關シテハ別紙第一ノ取扱要領ニヨツテコレヲ處理セ
ラレタイ。尙本件ニ關シ大藏省理財局長カラ別紙第二ノ通り通
知ガアツタカラ了知セラレタイ。

追ツテ陸軍關係ノモノニツイテモコレト同様ニ處理スルヤウ
ニ第一復員局カラ關係ノ向ニ連絡セラレテキル。

(別紙第二)

死亡軍人軍屬所屬遺留金取扱要領

一 死亡軍人軍屬所屬ノ遺留品ハスベテ原則トシテ上陸地連絡
所ニ於テ開相ノ上在中ノ遺留金ニ就テハ遺留品目録ニ基キ
上陸地連絡所長ハ

(イ) 各身分ニ應ズル持歸リ金制限額内ノ金額ニ就キ當該金額
ニ應ズル遺留金證明書ヲ發行シテ遺留金ト共ニ遺族ニ交付
スル(遺族ハ遺留金證明書ヲ遺留金ト共ニ日銀支店ニ呈示
シテ新開ニ云交換ヲ受ケルコトガ出來ル)

(ロ) 制限額以外ノ金額ニ就テハ税關ニ送附シ當該金額ニ應ズ
ル税關發行ノ保管證ヲ受取り遺族ニ交付シ保管セシメル。

二 上陸地連絡所長發行ノ遺留金證明書ハ別紙様式ニ依ルモノ
トシ之ヲ以テ引揚證明書ニ代ルモノトスル。

三 過去ニ於テ或ハ將來何等カノ事由ニ因リ上陸地ニ於ケル叙
上ノ手續ガ出來ズ遺留金ガ證明書ナシテ遺族ニ届イタ場合ニ
ハ所管ノ地方世話部ニ於テ遺留品目録ノ呈示ヲ受ケ或ハ其
ノ他ノ方法ニ依リ遺留品在中ノ金額デアル事ヲ確認ノ上第一
項ニ準ジ措置ヲスルコトガ出來ル。

四 遺留金ノ取扱及證明書ノ發行ハ不正不當ノ行爲ヲ未前ニ防
止スル様特ニ嚴正ニ實施セラレタイ。

遺留金證明書

一金 回 錢(通貨ノ種類)

1 死者所屬部隊名

2 死者官氏名

3 遺族氏名(族柄)(遺族ニ記入サセル)

右之通り昭和 年 月 日交付シタ遺留品在中ノ遺留金デア
ルコトヲ證明スル

昭和 年 月 日

〇〇上陸地連絡所長
〇〇地方世話部長 氏 名 職

(注意) 遺族ノ方ハ本證明書受領後一ヶ月以内ニ最寄りノ日本
銀行本店又ハ支店ニ遺留金ト共ニ提示シテ交換ヲ受ケ
テ下サイ。

(別紙第二)

藏理外第二一九五號

昭和二十一年七月九日

大藏省理財局長

復員廳第二復員局經理部長殿

戰歿者及引揚船中ニオケル死亡者ノ遺留現金
及證書等ノ取扱ニツイテ

首題ノ件ニ關シテ別紙ノ通り各稅關宛通牒シタカラ御承知ノ上
可然取計ハレタイ。

藏理外第二一九五號

昭和二十一年七月九日

大藏省理財局長

戰歿者及引揚船中ニオケル死亡者ノ遺留現金
及證書等ノ取扱ニツイテ

戰歿者及引揚船中ニオケル死亡者ノ遺留現金及證書等ニ付テハ
左記ノ通り引揚者ト同様ノ取扱ヲナスコトニナツタカラ御承知
アリタイ。
右通牒スル。

記

一 遺留現金ノ中、舊日銀券及現地通貨ヲ引揚ゲテ、左ノ限度
内デ日銀券ノ支拂ヲナスコト。

一般人及軍屬 一人ニ付テ 千圓相當額
將校(見習士官及準士官ヲ含ム) 一人ニ付テ 五百圓相當額

下士官以下

一人ニ付テ 二百圓相當額

二 現金預リ證(之ニ準ズルモノヲ含ム)ノ場合ニハ現金預リ
證ヲ引揚ゲ現金ト通算シテ前項ノ限度内デ日銀券ノ支拂ヲ
ナスコト。

三 第一項及前項ノ支拂ニ際シテハ、引揚證明書ノ代リニ、軍
人、軍屬ノ場合ハ遺留品ヲ遺族ニ直接交付スル官署又ハ部隊
ノ所屬長ノ發給シタ遺留金證明書ヲ、一般人ノ場合ハ引揚民
輸送隊長ノ發給シタ死亡證明書又ハ上陸港所在稅關責任者ノ
發給シタ交換證明書ヲ呈示サセテ、之ニ遺留金交換支拂ニ付
テノ裏書處理ヲナスコト。

(註) 引揚民輸送隊長方死亡證明書ヲ發給シ居ルトキハ上陸港
所在稅關責任者ハ交換證明書ヲ發給シナイコト。

四 第一項及第二項ノ支拂ハ、日本銀行本店、支店又ハ上陸港
所在代理店デナスコト。

五 左ノモノヲ遺族ニ引渡スコトノ出來ルモノガ携帶輸入スル
コトヲ認メルコト。

軍事郵便貯金通帳

本邦、樺太、千島列島、南洋群島、南西諸島(北緯三十度
以南ニ限ル)朝鮮、臺灣、關東洲又ハ北支那ニ於テ、日本

政府ガ發行シタ郵便貯金通帳

簡易生命保險證券

本邦ノ保險會社(内地ノ店舗ニ限ル)ニヨツテ發行セザレ
タ保險證券

復員廳第二復員局公報 第一九號 昭和二十一年八月一日

四五

本邦ニオイテ發行セラレタ銀行預金通帳
六 日本政府發行ノ國債(圓表示)ヲ遺族ニ引渡スコトノ出來ルモノガ、遺留現金又ハ現金預リ證ト通算シテ第一項ノ限度内ヲ携帶輸入スルコトヲ認メタルコト。

二復員主第六號ノ八五

昭和二十一年七月三十一日

關係各廳長殿

復員廳第二復員局經理部長

外地關係郵便貯金ノ再度通帳發行ノ取扱ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シ遞信省貯金保險局カラ、朝鮮、臺灣、關東州、樺太、北支又ハ野戰郵便局若クハ海軍軍用郵便所(以下軍事郵便所ト略稱スル)ニ屬スル記號ノ郵便貯金通帳或ハ内地、千島列島、小笠原諸島、南洋群島又ハ南西諸島(北緯三十度以南ニ限ル)ニ屬スル記號ノ郵便貯金デ、朝鮮、臺灣、關東州、滿洲、樺太又ハ軍事郵便所扱ノ預入金ヲ混入シテナル貯金通帳ノ無餘白、亡失又ハ毀損汚斑ニ因ル再度通帳ノ發行ハ停止中デアツタガ、今回コレヲ再度通帳發行ノ取扱ヲ實施スルコトトナツタ旨、通知ガアツタカラ了知アリタイ。

追ツテ右ノ亡失ニハ外地ニオイテ聯合軍ニ押收セラレタモノ又ハ部隊ニ保管セラレタモノノヤウニ返還ノ見込ガアルモノハ包含サレナイ。尙聯合軍ニ押收セラレタモノニツイテハ外務省ヨリ聯合國最高司令部ニ返還方ヲ懇請濟デアリ、ソノ將

來返還サレルモノデ軍人軍屬ノ所持シテキタモノハ復員廳(陸軍關係ハ第二復員局、海軍關係ハ第二復員局)シ通ジ、ソノ他ノモノハ貯金保險局ヲ通ジ本人ニ返還サレル豫定デア

○雜款

○轉官

五月四日	運輸技官ニ轉官	海軍技手	山崎 五郎
五月十五日	内務事務官ニ轉官	海軍寄政長官	高辻 武邦
同	地方技官ニ轉官	海軍技師	古市 順一
六月九日	運輸技官ニ轉官	海軍技手	田村 義雄
六月十五日	地方事務官ニ轉官	海軍書記	織戸 利雄
同	賞勳局事務官ニ轉官	同	中川信四郎
同	大藏事務官ニ轉官	同	小林鶴一郎
同	厚生事務官ニ轉官	同	福原 賢一
同	大藏事務官ニ轉官	海軍司政官	淺野外茂記
同	同	同	太田 源藏
六月十七日	運輸技官兼運輸事務官ニ轉官	海軍書記	北野 英一
六月二十二日	檢事ニ轉官	海軍司政官	小島與三郎
七月十五日	遞信事務官ニ轉官	海軍書記	鈴木 義雄
同	大藏事務官ニ轉官	海軍司政官	淺岡 文夫

復員廳第二復員局公報

第二〇號

昭和二十一年八月三日

第二復員局公報

○令 達

復二第一三二號

昭和二十一年七月二十三日

復員廳總裁

第二復員部内各廳長殿

暑中執務時間ニ基キ事務處理要領ニ關スル件通達

大正十一年閣令第六號「各官廳執務時間」ニ基キ夏季執(休)務ノ實施ニ關シテハ左記諸件ニ注意シ事務處理上必要ノ人員ハ適宜交代制等ヲ採用シ執務時間外ト雖モ執務シ事務遂行ニ遺憾ナキヲ期スルコト。

記

- 一 復員廳本來ノ職責ニ鑑ミ復員事務處理上緊急ヲ要スル事項ノ處理ニ遺憾ナカラシメル。
- 二 進駐軍トノ折衝、開會中ノ議會或ハ他官廳等トノ連絡ニ支障ナカラシメル。
- 三 留守宅或ハ遺家族等ヨリノ安否相談、死亡公報ノ速達、復員者ノ給與等ニ關シテハ親切第一主義ヲ採リ従前通り即決即答ノ措置ヲ講ズル。
- 四 行衛不明者調査ノ爲ノ本籍名簿調製作業ノ如キ連續數日乃

至夜間ニ亙ルコトモ豫想セラルル特殊緊急業務ニ關シテ是等ノ方完遂ヲ圖ル。

復二第一三八號

昭和二十年內令第七號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年八月一日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海船名ノ欄「雜役船(曳船)ニ復」ノ前ニ「第二鮮友丸(阪)」ヲ加ヘル
神戸掃海部ノ項掃海船名ノ欄「第二鮮友丸」ヲ削ル
(參照 昭和三年五月六日第二復員省公報第一〇號)

復二第一四〇號

海軍計算證明規程中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年七月三十一日

復員廳總裁

第五條 會計檢査院法第十六條ノ規定ニ依リ委託ヲ受ケタル左ノ出納計算ノ檢査及責任解除ハ海軍會計監督規程ニ規定スル監督ノ區分ニ從ヒ經理部長之ヲ行フ
一、收入金

復員廳第二復員局公報 第二〇號 昭和二十一年八月三日

四七

1702

二 經理部及補給部以外ノ出納官吏ノ出納ニ係ル前渡資金
三 歳入歳出外現金

四 物品

前項ノ出納計算ニ付テハ之ヲ檢査及責任解除ヲ爲ス官吏必要
ナシト認ムルトキハ計算書ノ調製ヲ省略スルコトヲ得

第十六條ノ二 政府債務ノ支拂ニ代エ債主ヨリノ政府特殊借入
金ヲ爲シ支出官又ハ契約擔任官ニ於テ其ノ通知ヲ受ケタルト
キハ第二號ノ二書式ニ依リ政府特殊借入金調書ヲ作製シ支出
計算書前渡資金出納計算書ニ添附スヘシ
前項ノ調書ニハ原債務ニ關スル證憑書類ヲ添附スヘシ證憑書
類ニ關シテハ計算證明規程ノ規定ヲ準用ス

附則

本規程ハ昭和二十一年度ヨリコレヲ適用スル。但シ第十六條ノ
二ノ規定ハ昭和二十年度分ヨリコレヲ適用スル。
戰時海軍計算證明規程ハコレヲ廢止スル。
(別紙添)

○ 通 牒

復二第一三三號

昭和二十一年七月二十六日

復員廳第二復員局文書課長

各 廳 長 殿

横須賀運航部ニ對スル賞詞ノ件通知

左ノ書類ヲ二十六日聯合軍司令部浦賀港分遣隊ヨリ第二復員局
長宛持參シ手交サレタ。

昭和二十一年七月二十五日

聯合軍浦賀港分遣隊指揮官

陸軍中佐

ロバート・W・キング (署名)

第二復員局長 前田 稔殿

余ハ「チエーズ」少將ノ吉田利喜藏氏ニ對スル左記賞詞ヲ貴殿
ニ傳達スル。

記

陸軍少將ウヰキリヤム・C・チエーズ (署名)

吉田 利喜藏氏 宛

余ハ浦賀引揚援護局視察ノ際、引揚者ノ引揚船下船作業方極メ
テ能率ヨク且都合ヨク行ハレテ居ルノヲ欣快トシタ。

浦賀港ニオケル余ノ部下ハ、余ニ對シ、貴殿ノ進駐軍ニ對スル
協力ト同港ニオケル巧妙ナル艦船ノ操作ハ引揚計畫ノ順調ナル
遂行ニ寄與スル處大ナル旨ノ報告ヲ受ケタ。

余ハ貴殿方最モ困難ナル任務ヲ克ク遂行シツ、アル才幹ニ對シ
賞詞ヲ呈スル。

(復二第一四〇號別紙第二號ノ二)

昭 和 何 年 度

何 年 何 月 分

政 府 特 殊 借 入 金 調 書

證 憑 書 何 冊

何 々 〃

總 〃 名

職 官 氏 名 印

年 月 日 提 出

(昭和二十一年八月三日復員總局第二復員局公報)

1704

總 括						
本 月 分		前 月 迄 分		合 計		備 考
本 月 分 内 譯						
借 入 額	借入年月 及 番 號	債 主 名	原 債 務			
			科 目	契約又ハ 指令年月 及 番 號	作 名	金 額

1705

復員廳第二復員局公報

第二號

昭和二十一年八月五日(月)

第二復員局 秘書課

○ 令 達

復二第一三九號

元第七十一號海防艦
右ヲ特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定メル。

元驅逐艦 連

元海防艦 志 賀

元第十二號海防艦

元第二十二號海防艦

元第五十七號海防艦

元第九十七號海防艦

元第四百四號海防艦

元第五百五十四號海防艦

元第二百十七號海防艦

元第三十八號驅潜艇

右ヲ特別輸送艦トシ佐世保地方復員局所管ト定メル。
昭和二十一年八月一日

復員廳 總裁

復二第一四四號

復員廳第二復員局及ビ地方復員局定員表中次ノヤウニ改正シ來

復員廳第二復員局公報 第二一號 昭和二十一年八月五日

ル八月十五日カラコレヲ施行スル。
昭和二十一年八月三日
囑託ノ關シ次ノヤウニ改メル。

復員

廳 總裁

一八〇	六	一〇	二四	一六	二〇	三〇	八四	囑託
-----	---	----	----	----	----	----	----	----

(參照 六月十九日第二復員局公報)

四九

1706

復二第一四五號

復員廳第二復員局定員表（内譯）中次ノヤウニ改正シ來ル八月十五日カラコレヲ施行サレル。

昭和二十一年八月三日

復員廳第二復員局長

囑託ノ欄ヲ次ノヤウニ改メル。

囑	託	一	三	七	八	二	一	一	一	四	三	一	一	四	六
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

一	三	七	八	二	一	七	一	〇	三	三	八	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（參照 六月二十日第二復員局公報）

復二第一四六號

復員廳地方復員局定員表（内譯）中次ノヤウニ改正シ來ル八月十五日カラコレヲ施行サレル。

昭和二十一年八月三日

復員廳第二復員局長

囑託ノ欄ヲ次ノヤウニ改メル。

囑	託	三	〇	二	〇	一	六	一	四	一	〇	六	九	六
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

（參照 六月二十日第二復員局公報）

復員廳第二復員局公報

第三二號

昭和二十一年八月七日(水)
第二復員局文書課

○通牒

復二第一三三號

昭和二十一年七月三十一日

復員廳第二復員局長

關係各所轄長殿

艦外ニ在ル乗組員ニ對スル糧食給與ニ關スル

件通牒

特別輸送艦船及掃海艦船ノ乗員ニシテ艦船ノ行動作業上歸省待機ヲ命ゼラレタ場合ハ左記ノ通食數ニ應ジ主食糧ヲ支給シ得ルコトニ定メラレタ。

記

米 九九瓦(一食分ニツキ)

二復補第一〇三六號

昭和二十一年七月三十一日

復員廳第二復員局經理部長

復員廳第二復員局補給部長

關係各所轄長殿

艦外ニ在ル乗組員ニ對スル糧食給與ニ關スル

件申進

復員廳第二復員局公報 第三二號 昭和二十一年八月七日

首題ノ件ニ關シ今般復二第一三三號ノ通り定メラレタガ右ハ國內食糧事情上特例トシテ措置サレタモノデ特別保管艦艇乗員ニシテ歸省待機中ノ者及ビ艦船整備期間中歸省待機中ノ者並ビニ官房總第七五號(昭和二十一年五月二十八日)ニヨル交代シタ乗員ハ之ニ含マレルコトトナル。
ナホ歸省ノタメ旅行スル者ノ旅費ハ海軍内國旅費規則第十四條第三項(同第三十條第一項第四號關聯)ニ該當スル場合ノ外ハ支給サレナイ爲念。
追ツテ本件支給ノ場合ハ別表様式ニヨル證明書ヲ發行本人ニ携持サセルコトニ定メラレタ。
(別表添)

別表

番號	糧食支給證明書
發行年月日	昭和二十一年 月 日
發行廳々長	
氏名	
印	

受給者身分	氏名	給與品名及數量	給與期間	給與量額
			自昭和二十一年八月一日至同年八月一日	一食ニ付キ 米 九九瓦ノ割

二復總第一二五號

昭和二十一年八月一日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

俘虜及ビ軍抑留者關係書類ニ關スル件照會
 首題ノ件ニ就イテ別紙ノ通り俘虜情報局長官ヨリ依頼ガアツタ
 カラ關係各部ニオイテハ現地關係者ガ内地ニ歸還スルトキ關係
 書類ヲ携行スルヤウ現地ニ連絡傳達スルヤウニ努メラレタイ。
 追ツテ本件ニ關係アル海軍俘虜收容所ハ次ノヤウデアアル。
 蘭領「ボルネオ」(バンゼルマシシ・プロクチャウ・カンダカ
 ン)

(別紙添)

別紙

俘情第五五號

各軍殘務整理部ニ對スル連絡ニ對スル依頼

昭和二十一年七月二日

俘虜情報局長官

第二復員局總務部長殿

當局ノ業務上必要有之ニ付各軍殘務整理部ニ對シ俘虜及軍抑留者ニ關係セル者ノ内地歸還ニ方リ俘虜及軍抑留者關係書類悉ク皆携行相成ル様連絡シテ頂キ度イ。

尙當局ノ必要ヲ不足資料左ノ通りニ付爲念申添フ。

一 海軍關係俘虜收容所ノ死亡者連名簿及死亡診斷書

二 同俘虜總員名簿

復員廳第二復員局公報

第二三號

昭和二十一年八月十日(土)

第二復員局文書課

○令 達

復二第一一九號

當分ノ間特別保管艦艇ニ指定スルモノノ定員ハ各々ソノ定員ノ範圍内トシ別ニ定メルトコロニヨル。但シソノ定員ハ夫々所管又ハ所在地ノ地方復員局(運航部)ニコレヲ置クコトガデキル。

昭和二十一年八月一日

復員廳 總裁

○通 牒

二復總第一四八號

昭和二十一年八月九日

第二復員局總務部長

關係各廳長殿

惡質「ブローカー」ニ對スル警戒ニ關スル件申進
隱匿物資緊急措置令ノ發動ニ伴ヒ、從來主トシテ不當ノ手段等ニ依リ軍需物資ヲ取得シテ居タ業者、「ブローカー」等ガ復員局又ハ舊軍人ノ名ヲ騙ツテ右物資ノ處分ヲ急グヤノ事例(例別紙)ガ頻發シテ居ルカラ特ニ警戒スルヤウ指導アリ度イ。尙此ノ種

別 紙

事件ハ其ノ都度夫々根源ヲ探メテ之ヲ拭掃ニ努ムルト共ニ適時當方ヘモ連絡セラレ度イ。

總務局長會報資料

七月二十六日、一復、文書課

各省ヘ統制物資賣込ノ爲復員局ノ名ヲ關ルモノアリ一例左ノ如ク御注意願度

一 司法省記者俱樂部ノ者曰ク「復員局ヨリ運輸省ヘ一千萬圓ノ被服ヲ賣込ム管デ仲介ニブローカーアリ」ト又曰ク「復員局ヨリ織物統制會社ヘモ賣込ミ計畫中ナリ」ト

二 一鮮人來リ「原町田ニ被服類數百萬圓アリ私ニモ拂下ガ願ヒ度」

三 某者來リ「復員局ニテガソリン一本三、〇〇〇圓デ拂下ガシアル山私ニモ御願シ度」等々

二復總第一四九號

昭和二十一年八月一日

復員廳第二復員局總務部長

各廳長殿

戰犯客疑者(舊軍人)取扱要領ノ件通知

復員廳第二復員局公報 第二三號 昭和二十一年八月十日

五三

首題ノ件ニ就テ別紙ノ通り終戦連絡中央事務局ヨリ通知ガアツタカラ然ルベク取計ハレタイ。
尙現ニ第二復員部内勤務者ニ對シ戦犯容疑者トシテ逮捕ノ指令ガアツタ場合ハ中央ヨリ所轄長宛通知スルカラ事務引継竝ニ身柄保護等ニ關シテ遺憾ナキヲ期セラレタイ。

(別紙添)

別紙

絡政安令第四六九號

昭和二十一年七月二十二日

終戦連絡中央事務局政治部長

第二復員局總務部長殿

戦犯容疑者(舊軍人) 取扱要領ノ件

首題ノ件ニ關シ、關係官ニ於テ協議ノ結果、別紙申合ノ通り取扱ノ事トナツタノデ、各關係方面ニ右申合事項ノ徹底方取計ラハレタイ。

尙本件ハ昭和二十一年八月一日ヨリ實施スル。

戦犯容疑者(舊軍人) 取扱要領申合

第一、第二復員局
終戦連絡中央事務局

一 戦犯容疑者ノ逮捕及護送ハ總テ内務省デ擔當スル。
二 護送中ノ取扱ハ國內法令ヲ準用スルモ特ニ人權ノ尊重ニ留意スル。

東京ニ於テ宿泊ヲ必要トスル場合ニ於テハ内務省ニ於テ擔當スル。(警視廳保護室ヲ使用)

三 護送ハ巢鴨拘留所迄之ヲ行フ、但シ米第八軍拘留所司令官ヘノ引渡ニ際シテハ終戦連絡中央事務局巢鴨分室係官ニ立會ヒ必要ナル協力ヲナスモノトスル。

護送警察官ハ巢鴨拘留所カラ受領證ヲ受領スル、巢鴨拘留所ヘノ引渡取扱時間ハ平日ニアリテハ午前八時ヨリ午後三時迄、土曜日ニアリテハ午前八時ヨリ十時迄トシ休日ハ取扱ハナイ。

四 外地ヨリ輸送シテ來タ舊軍人戦犯容疑者ハ内地陸上陸下同時ニ第一復員局關係ニ在リテハ陸地支局長ニ、第二復員局關係ニ在リテハ陸上陸下支局長ニ於テ本人ニ其旨傳達復員ノ處置ヲトルト共ニ直ニ身柄ヲ陸地ノ關係廳府警察部又ハ最寄警察官署ニ引渡シ夫々第一(第二)復員局長ニ報告スル。

五 第一(第二)復員局官署ハ逮捕ノ爲メノ所在調査等ニ關シ積極的ニ内務省ニ協力スル。

六 昭和二一、一、一八公安發第九號ニ係ル容疑者逮捕ノ申合事項ハ右ノ通り改メル。
但シ證人ノ呼出ニ關シテハ従前ノ通りトスル。

復員廳第二復員局公報

第二四號

昭和二十一年八月十二日(月)
第二復員局文書課

○通 牒

二復經主第七號ノ八八

昭和二十一年八月九日

復員廳第二復員局經理部長



關係各廳殿

朝鮮人勞務者等ノ給與等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シテハ六月二十一日厚生省發勞第三六號ヲ以テ厚生次官ヨリ地方長官宛通牒セラレマシタガ、尙左ノ事項御諒知ノ上貴部ニ於テモ警察部司法當局ソノ他關係先ト密ニ連絡シテ關係者ノ指導ニ當ラレタク御參考迄御報ラセシマス。

別 紙

給發第六十四號

昭和二十一年七月十七日

厚生省勞政局給與課長

第二復員局主計課長殿

朝鮮人勞務者等ノ給與等ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ、客月二十一日厚生省發勞第三六號地方長官宛ノ次官通牒ヲ送付シ、關係方面ニ徹底方依頼シテ置キマシタガ、尙今般別紙寫ノ通り通知シマシタカラ、御合ミノ上特段ノ御配意ヲ御願ヒ致シマス。

給發第六二號

昭和二十一年七月十一日

厚生省勞政局給與課長

各府縣内務部長
教育民生部長殿

朝鮮人勞務者等ノ給與等ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ六月二十一日厚生省發勞第三六號ヲ以テ厚生次官ヨリ地方長官宛通牒セラレマシタガ、尙左ノ事項御諒知ノ上貴部ニ於テモ警察部司法當局ソノ他關係先ト密ニ連絡シテ關係者ノ指導ニ當ラレタク御參考迄御報ラセシマス。

記

- 一 本件ニツイテハ七月八日次官會議ヲ以テ厚生次官ヨリ關係各省ニ報告シテ協力ヲ依頼シテアルコト。
- 二 尙本件ノ趣旨ハマ司令部ニ於テモ管下各軍政部隊ニ通達シテ實施ニツキ監督セラレレル管デアアルコト。
- 三 前記厚生次官通牒ノ左記第五項ニ「但シ民法ニヨル委任ヲ受ケタ場合ハ此ノ限りデハナイコト」ト記シテアルヲ現在朝鮮人聯盟ハ法人格ヲモツ團體デハナイノデ團體員個人ヲ委任シ受ケタ場合ハ別トシテ團體トシテ委任ヲ受ケテ行ハスルコトトハ出來ナイモノデアアルコト。

復員廳第二復員局公報 第二四號 昭和二十一年八月十二日

五五

四 朝鮮人勞務者等ニ對スル未拂金ノ他ノ處理ニツイテハ債
務履行地ノ供託所ニ供託セシメルコトトスル方針ヲ目下司法
省ノ他關係先ト連絡シ研究中デアルノテ決定次第勞務局長
ヨリ通牒セラレル筈ニツキ含ミ置カレ度キコト。

○難 款

○郵便物發送先

特別輸送艦 海第八十七號 福岡市海岸通り二丁目博多運航

部氣付

同 巨 濟

同 竹 同

同 響 同

同 粟 島 福岡市石城町博多上陸地連絡所

同 荒 崎 氣付

同 輸第二十號 同

同 海第十八號 鹿兒島市作吉町鹿兒島運航部氣

付

○事務所

七月二十九日移轉 岐阜地方世話部第二復員課

岐阜市長森北一色(舊東海第二十六部隊跡)

(電話岐阜四〇〇五番)

○殘務整理

自七月十日第八海軍建設部殘務整理班
至八月三十一日

横須賀地方復員局内

七月十五日開始 特別輸送艦八雲殘務整理班

舞鶴市北吸町舞鶴地方復員局艦船運航部氣付

七月二十五日終了 神風殘務整理班

(爾後ノ連絡ハ横須賀運航部内伊藤事務官)

○轉官

七月十五日 大藏事務官(一)ニ轉

官 海軍司政官 松田 文藏

同 同 同 太田 亮一

同 同 同 日下 綱太郎

同 大藏技官(三)ニ轉官 海軍技手 岩 佐 巖

同 地方事務官(三)ニ轉官 海軍警部 島 津 一

(警部補)ニ轉官

復員廳第二復員局公報

第二五號

昭和二十一年八月十六日(金)

第二復員局文書

○通 牒

二復經主第二號ノ八八

昭和二十一年八月一日

復員廳第二復員局經理部長

復員廳第二復員局經理部長ノ歳入徴收事務分掌官並ニソノ取扱區分ヲ左ノ通り定メ昭和二十一年八月一日カラコレヲ施行スル。

歳入徴收事務分掌官	歳 入 區 分
横須賀地方復員局經理部長	地方復員局所屬ノ各部ニオケル昭和三十二年大蔵省令第七十三號ニ規定スル歸郷旅費等ノ返還
呉地方復員局經理部長	右ニ同シ
佐世保地方復員局經理部長	右ニ同シ
舞鶴地方復員局經理部長	右ニ同シ
大湊地方復員局經理部長	右ニ同シ
大阪地方復員局經理部長	右ニ同シ

管制經理部	淺野物産支店	轉 送	元
出帳所	淺野物産出張所	轉 送	先

二復經契第三〇一號ノ一八
昭和二十一年八月六日

復員廳第二復員局經理部長
關係地方復員局經理部長殿

引揚援護物資ニツイテノ件照會

外地カラノ軍官民引揚ノ進捗ニ伴ツテ遂次引揚援護局ノ縮少又ハ廢止ガ行ハレルガ首顧品ハ其ノ性質ニ鑑ミテ二復經契第三〇一號ノ一〇、二復經契第三〇一號ノ一一、二復經契第三〇一號ノ一三ニヨル配給以外(インク、藥品ヲ除ク)ニ費消スルコトハ嚴ニ之ヲ戒メ余剩品ハ左記ニヨツテ任務未了ノ引揚援護局所在ノ淺野物産出張所ニ轉送シ爾後ノ引揚者援護ニ充當スル様取計ハレタイ。

一 轉送區分 記

復員廳第二復員局公報 第二五號 昭和二十一年八月十六日

五七

1714

横須賀經理部	名古屋支店	舞鶴經理部	舞鶴出張所
大阪經理部	大阪支店	舞鶴經理部	舞鶴出張所
佐世保經理部	針尾出張所 鹿兒島出張所	佐世保經理部	博多出張所

- 二 各管領經理部ハ七月十五日以降逐次發令セラレル配船豫定ニヨリソノ余剩物資ハ前項ノ區分ニヨツテ轉送シ品名數量ヲ至急當部ニ報告スルコト。
- 三 前項ノ轉送ハ運輸ト連絡ヲ密ニシテ極力輸送艦艇便ヲ利用シ之ニヨリ難イ場合ハ貨車輸送トスルコト。
- 四 轉送ニ要スル經費ハ當部ト淺野物産本社間デ協定スル。
- 五 煙草及ビ酒ニツイテハ現品化シタモノハ前四項ニヨルコトトシ未取得分ハ其ノ余剩割當數量ヲ當部ニ報告ノ上割當ノ變更ヲ受ケルコト。
- 六 詳細ハ各經理部ノ間デ協議スルコト。

○雜 款

- 郵便物發送先
 - 特別輸送艦 海第百九十三號 佐世保郵便局氣付
 - 同 海第五十八號 同
 - 同 樺 同
 - 同 樺 同
 - 同 佐世保市福石町 佐世保運輸部氣付
 - 同 福岡市海岸通三丁目 福岡市運輸部氣付
 - 同 博多運輸部氣付

- 同 掃第二十一號 東舞鶴郵便局氣付
- 同 奄 美 同
- 同 伊 王 山口縣大津郡仙崎町 仙崎運輸部氣付
- 病 院 船 菊 丸 博多郵便局氣付
- 勅 航 船 榮 昌 丸 來 下關市吉見町下關掃海支部氣付
- 試 航 船 榮 昌 丸 香川縣多度津市 多度津郵便局氣付

○轉官

- 五月十四日 地方事務官(二)ニ轉官 海軍司政官 富阪 祐治
- 六月九日 運輸技官ニ轉官 海軍技手 松澤 宏
- 六月十五日 文部事務官(三)ニ轉官 海軍書記 宮村大一郎
- 同 外務事務官(一)ニ轉官 海軍司政官 加藤 義明
- 同 商工技官(三)ニ轉官 海軍技手 木宮 大介
- 同 大藏事務官(三)ニ轉官 海軍司政官 山根加壽夫
- 六月二十五日 運輸技官ニ轉官 海軍技手 岡部 清

○正誤

雜款欄郵便物發送先「特別輸送艦海第十八號」ハ「海第百十八號」ノ誤デアル。

復員廳第二復員局公報 第二六號

昭和二十一年八月二十日(火)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一五七號

右ヲ帝國軍艦籍カラ除ク。
元横須賀鎮守府在籍
軍艦 妙高

元佐世保鎮守府在籍
第四號 掃海艇

右ヲ帝國掃海艇籍カラ除ク。
元横須賀鎮守府在籍
第八號 掃海艇

元佐世保鎮守府在籍
第一號 驅潛艇
第三號 驅潛艇
第四十一號 驅潛艇
第五號 驅潛艇

右ヲ帝國驅潛艇籍カラ除ク。
元佐世保鎮守府在籍
第三十六號 哨戒艇

復員廳第二復員局公報 第二六號 昭和二十一年八月二十日

昭和二十一年八月十日

復員廳總裁

復二第一五八號

特設掃海隊編制ヲ廢止スル。
昭和二十一年八月十日

復員廳總裁

復二第一五九號

汽船 第六長運丸
同 第七長運丸
同 利丸
同 第二利丸
右ヲ特設掃海艇トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。
昭和二十一年八月十日

復員廳總裁

○通 牒

復二第一七四號

昭和二十一年八月十九日

五九

關係各廳長殿

復員廳第二復員局文書課長

職員抄錄原稿送付方ノ件照會

首題ノ件ニ關シテ別紙ノ通り内閣官房人事課長ヨリ照會ガアツクカラ別紙參照ノ上左記記入例ニ依リ作製ノ上今月末迄ニ人事
部ニ到着スル様送付サレタイ。

記

廳名「復員廳第二復員局」

所在地「東京都麹町區霞ヶ關二ノ一」

電話番號「自銀座三三〇一至銀座三三一九」

◎部課名「人事部」電話番號「銀座三九四七、八三二〇」

職名 官等 氏名 住、所(電話番號)

「長」 「復員事務官」 「何 某」 「東京都日黒區中日黒」

「人事課長」 「復員事務官」 「何 某」 「東京都日黒區中日黒」

「(兼)」 「(一級)」 「何 某」 「東京都日黒區中日黒」

「扶助課長」 「復員事務官」 「何 某」 「東京都日黒區中日黒」

「(註)」 「」内ハ記入例

(別紙)

内閣入履第四四號

昭和二十一年八月二日

復員廳第二復員局長殿

内閣官房人事課長

職員抄錄原稿送付方ノ件

標記ノ件ニ關シ別紙寫ノ通り印刷局長ヨリ照會ガアツクノデ別紙様式ニ依リ昭和二十一年九月一日現在ニテ貴廳ノ分調査作成ノ上來ル九月二日迄ニ當課ニ御提出下サレ度御願ヒ致シマス。

(別紙寫)

昭和二十一年七月二十五日

印刷局長

内閣書記官長殿

職員抄錄原稿送付方御依頼ノ件

當局編纂發行ニカカル職員錄ハ昭和十八年七月一日現在調ノ分發行以來諸種ノ事情デ發行ヲ中止シテサマシタガ終戦以來各官廳ノ移轉ヤ機構改正等ノタメ聯絡ノ困難其他ノ事情ニ鑑ミ今般左記要領ニヨツテ職員抄錄ヲ發刊シ以テ事務上多少ナリトモ便宜ヲ圖リタイト存ジマスノデ御察用中恐縮ナガラ原稿御作製ノ上、期日マデニ御送付下サル様御願ヒ致シマス。

記

一 昭和二十一年九月一日現在調ヲ以テ貴所管ニカカル在京各官廳ノ所在地、電話番號及ビ秘書官、課長以上ノ職員(之ニ準ズル者ヲ含ム別紙參照セラレタシ)ノ氏名、官職名、住所、電話番號並ニ貴管下各地方所在ノ各廳(別紙參照セラレタシ)ノ所在地、電話番號及ビ職員ノ氏名、官職名ヲ記載スルコト。
一 原稿到達期日九月五日印刷局ニ必着ノコト。
一 編纂中ノ移動ハ出来得ル限り訂正シタイト存ジマスカラ共ノ

都度至急御報告下さい。

一 原稿送付先 東京都牛込區市谷本村町

印刷局業務部官報課

(別紙)

前記要項ニ記載シタモノノ他左記ノ分ヲモ記載セラレタイ。

記

一 内閣一、二級事務官(舊内閣書記官、内閣參事官)全部

一 内閣總理大臣秘書官

一 恩給局(小田原所在)ノ課長以上

一 法制局一、二級事務官(舊參議官及書記官)全部

一 戦争調査會事務局ノ課長以上

一 國務大臣秘書官全部

一 以上氏名、官職名及住所、電話番号記載ノコト。

一 復員廳中地方所在ノモノ。

復員連絡局

留守業務局

復員通信部

船舶殘務整理部

地方復員局

一 戦災復興院中地方所在ノモノ。

一 特別建設出張所長

復員廳第二復員局公報 第二六號 昭和二十一年八月二十日

二 復員主第七號ノ九三

昭和二十一年八月十五日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

軍人軍屬ニ支給シタ歸郷旅費等ノ國庫返納手續等ノ取扱細目ニ關スル件通牒

今般大藏省令第七十九號ヲ以テ首題ノ納付手續等定メラレタガ

コレガ取扱細目ハ左記ニヨラレタイ

記

一 昭和二十一年大藏省令第七十三號第一項ノ返還金トハ内地

以外ノ地ヨリ歸還ノ海軍軍人軍屬(文官同待遇者及部内限交

官待遇囑託者ヲ謂フ)ガ内地港灣ニ歸着シタトキ地方復員局

上陸地連絡所復員部主計課長ノ移牒シタ外地歸還海軍軍人軍

屬申書乙片ニヨリ俸給家族下渡應ニ於テ封鎖支拂ニ依リ支

給シタ昭和二十年十二月第一三〇九二五番電ニ依ル歸郷旅費

及ビ海軍戰時特例給與規則第十二條ノ遭難服裝手當ヲ謂フ。

註 一 下士官、兵ノ歸郷旅費ハ五百圓以下デアルシ員、

傭人及工員ニ對スル歸郷旅費及遭難服裝手當ノ合計支

給金額ハ五百圓以下デアルカラ返還ノ要ハナイ又判任

文官同待遇者(部内限文官待遇囑託者ヲ含ム)デモ歸

郷旅費及遭難服裝手當合計額ガ五百圓以下ノ者ハ返還

ノ要ガナイ。

二 歸郷旅費及遭難服裝手當ノ合計額ガ五百圓ヲ超セル

六一

1718

場合ニ上陸地連絡所復員部ニ於テ五百圓ニ滿クナイ金額ノ自由支拂ヲ受ケク者又ハ全然自由支拂ヲ受ケカウク者ニ對スル返還金ハ既ニ支給シタ金額ト合算シテ五百圓ニ滿ツル金額ヲ控除シタ殘額ニツイテ返還金トシテ納入告知書ヲ發行スル。

二 前號ニ該當スル給與ヲ支給シタ第二復員局經理部長(第二復員省經理局長ヲ含ム)及地方復員局經理部長ハ當該給與金ノ受給者ニ對シ歳入徴收官又ハ歳入事務分掌官トシテ昭和二十一年九月十五日迄ニ昭和二十一年大藏省令第七十九號別表ノ納入告知書ヲ發行シ之ヲ交付スル
註 納付期日ハ昭和二十一年九月三十日トスル。

三 歳入徴收官及ビ歳入事務分掌官前號ノ告知書ヲ發行シタトキハ官階(等)別員數及金額ヲ記載シタ返還金調書ヲ作成シ昭和二十一年九月三十日迄ニ第二復員局經理部長ニ提出スルモノトスル。

(參照) 昭和二十一年大藏省令第七十九號 六月三十日官報號外
同 第七十九號 七月九日官報

○ 雜 款

○ 郵便物發送先
特別輸送艦 早 埼 横須賀市浦賀町横須賀選航部氣付

○ 正誤

八月十二日附復員廳第二復員局公報令達欄第五頁二復經主第七號ノ八八中「復員廳第二復員局經理部長」ハ「復員廳第二復員局經理部」ノ誤

復員廳第二復員局公報

第二七號

昭和三十二年八月二十一日(水)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一六五號

元特務艦 宗 谷

右ヲ特別輸送艦トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

汽 船 長 運 丸

同 高 榮 丸

同 氷 川 丸

同 菊 丸

同 新 興 丸

右ヲ特別輸送船トシテ横須賀地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

元雜役船 津 久 茂

汽 船 紀 進 丸

同 高 砂 丸

右ヲ特別輸送船トシテ吳地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 筑 紫 丸

同 長 江 丸

同 阿 多 田 丸

右ヲ特別輸送船トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

同 室 津 丸

右ヲ特別輸送船トシテ舞鶴地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和三十二年八月十五日

復員廳總裁

復二第一七六號

元第九十一號哨戒特務艇

右ヲ掃海艦トシ吳地方復員局所管ト定メル。

昭和三十二年八月十五日

復員廳總裁

復二第一七七號

昭和三十二年內令第七號中次ノヤツニ改正スル。

昭和三十二年八月十五日

復員廳總裁

大竹掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「黒神」ノ次ニ「哨特第三百三十五號、同第三百九十一號」ヲ加ヘ、「驅潜特第三百七十五號、同第三百八十七號」ヲ「驅潜特第三百七十四號、同第三百七十五號、同第三百八

十七號、同第二百五十五號」ニ、掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船（曳船）二隻」ヲ「雜役船（曳船）四隻」ニ改メル。

下關掃海部ノ項掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船（曳船）一隻」ヲ「雜役船（曳船）二隻」ニ改メル。

徳山掃海部ノ項掃海船名ノ欄「哨第三百三十五號、驅潜第三百七十四號、同第二百五十五號」ヲ削リ、掃海船名又ハ隻數ノ欄「雜役船（曳船）六隻」ヲ「雜役船（曳船）三隻」ニ改メル。

（參照 昭和三年三月六日 第二復員省公報第一〇號）

復一第一七九號

一 復員廳第二復員局部内職員公務ニヨリ内地ヲ旅行スルトキ支給スル日當及ビ宿泊料ハ海軍内國旅費規則第四表及ビ第五表ノ規定ニカ、ハラズ別表ニヨル。

二 海軍内國旅費規則第三十九條ノ規定ハコレヲ適用シナイ。

三 前二號ノ規定ハ昭和二十一年八月一日以後ノ旅行ニツイテコレヲ適用スル。

四 昭和二十一年官房經第一六號ハ昭和二十一年七月三十一日限リコレヲ廢止スル。

昭和二十一年八月二十日

復員廳總裁

（別表）

第四表 普通旅費		旅費等級	親任官	一級官吏 同待遇者	二級官吏 同待遇者	三級官吏 同待遇者	雇員	傭人	
日當	宿泊料								
甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地
三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇
三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇
三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇
三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇

備考
甲地方トハ東京都、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ヲ、乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ。

第五表 特定旅費		旅費等級	親任官	一級官吏 同待遇者	二級官吏 同待遇者	三級官吏 同待遇者	雇員	傭人	
日當	宿泊料								
甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地	甲地	乙地
三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇
三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇
三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇
三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	三〇〇	四〇〇	一〇〇	一〇〇

備考
甲地方トハ東京都、京都市、大阪市、横濱市、神戸市及名古屋市ヲ、乙地方トハ其ノ他ノ地域ヲ謂フ。

復員廳第二復員局公報

第二八號

昭和二十一年八月二十三日(金)
第二復員局文書課

○令 達

復二第一八〇號

昭和十八年内令第二五六六號中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年八月三日

復員廳總裁

元山方面特別根據地隊ノ項特設掃海艇ノ欄「第三號太平丸(佐)」ヲ削ル。

上海方面根據地隊ノ項特設驅潛艇ノ欄「第三萬代丸(吳)、第二大平丸(吳)、第七大平丸(吳)、第三高倉丸(吳)、第四神威丸(吳)、第七島海丸(吳)、第八國見丸(吳)、第九藏王丸(吳)、第三十四郵船丸(吳)、第六十一辰磨丸(吳)」ヲ削ル。

復二第一八一號

汽船	第三萬代丸
同	第二大平丸
同	第七大平丸
同	第三高倉丸
同	第四神威丸
同	第七島海丸
同	第八國見丸

復員廳第二復員局公報 第二八號 昭和二十一年八月二十三日

印 復員廳第二復員局公報 第二八號 昭和二十一年八月二十三日

六五

右ノ特設驅潛艇トシテ吳地方復員局所管ト定メクノヲ解ク。
同 第九藏王丸
同 第三萬代丸
同 第六十一辰磨丸
同 太平丸

昭和二十一年八月三日

復員廳總裁

○通 牒

二復經理局主第七號ノ九七

昭和二十一年八月二十二日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長殿

第二復員局勤務員ノ給與等ニ關スル件通知

首題ノ件ニ關シテ左ノ通り發電セラレタカラ承知サレタイ。

第三番電 (昭和二十一年八月二十二日發電済)

發 經理部長

宛 各地方復員局經理部長
 外地ニ在ル雇員傭人並ニ公務員デナイ囑託者(死歿未發表ノ者ヲ含ム)ニ對シテハ第二復員部内職員給與規則附則第七項ニヨリ昭和二十年十二月一日以後ハ昭和十八年官房經機密第四一二號今次戰爭雇員傭人扶助金支給特例中第二條ノ適用ナキニツキ扶助金ノ算出ノ標準ノ給料ニ對シ増率ノ適用ハナイカラ處理上留意セラレタイ。昭和二十一年十二月一日前ニ死歿シタ者デ同日以後支給スル扶助金ニツイテモ同様ニ取計ハレタイ。

○雜 款

○郵便物發送先

特別輸送艦 竹 横須賀市田浦郵便局氣付
 特別保管艦 生 野 同
 同 海第二七號 佐世保郵便局氣付
 特別輸送艦 董 同
 同 輪第一三七號 同
 同 海第一九六號 同
 同 隠 岐 同
 特別輸送船 長 運 博多郵便局氣付
 特別輸送艦 占 守 東舞鶴郵便局氣付
 同 海第一五八號 同
 同 萩 同 吳市吳地方復員局運輸部氣付
 同 海第一四二號 同

同 福 江 鹿兒島市六日町
 同 海第二〇七號 同 鹿兒島上陸地連絡所氣付
 特別輸送船 室 津 丸 同
 特別輸送艦 海第二〇五號 舞鶴市
 同 輪第一二〇號 横須賀市浦賀町
 同 栗 橋 同 横須賀地方復員局運輸部氣付
 同 海第八一號 福岡市海岸通り二丁目
 同 春 月 同 博多運輸部氣付
 同 海第四四號 佐賀縣西松浦郡
 同 掃 海艦 海第四九號 青森縣八戸市鮫郵便局氣付
 同 試 航 船 若 草 丸 岡田縣玉野市三井造船所氣付
 同 榮 昌 丸 岡田縣玉野市玉野郵便局氣付

復員廳第二復員局公報

第二九號

昭和二十一年八月二十七日(火)
第二復員局文書課

○令 達

復員第一八二號
昭和二十一年八月二十日

昭和二十一年八月二十日

復員廳總裁

下關掃海部ノ項掃海艦名ノ欄「哨特第三百三十六號」ノ次ニ「同第三百三十八號、同第三百三十九號」ヲ、「同第七百七十五號」ノ次ニ「同第七百七十九號」ヲ加ヘ、「同第七百七十六號(佐)」ヲ削リ、「同第八十六號、同第七百七十九號、同第八十六號」ヲ「同第八十六號、同第七百六十四號、同第七百七十九號、同第八十六號、同第七百九十八號」ニ改メル。
仙崎掃海部ノ項ヲ削ル。
神戸掃海部ノ項掃海艦名又ハ隻數ノ欄「第三鮮友丸」ヲ削ル。
大湊掃海部ノ項掃海艦名又ハ隻數ノ欄「雜役船(曳船)二隻」ヲ「雜役船(曳船)一隻」ニ改メル。

(參照 昭和二十年三月六日第二復員省公報第一〇號)

復員第一八三號

元第三百七十六號哨戒特務艦

復員廳第二復員局公報 第二九號 昭和二十一年八月二十七日

六七

右ノ掃海艦トシテ佐世保地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

右ノ掃海艦トシテ大阪地方復員局所管ト定メタノヲ解ク。

昭和二十一年八月二十日

復員廳總裁

○通 牒

二復員扶第一五號ノ一七四

昭和二十一年八月十七日

復員廳第二復員局人事部長

各地方復員局人事部長殿

復員海軍軍入、軍屬デ國立病院ニ入院中死亡

シタ者ノ取扱ヒニ關スル件照會

首題ノ件ニツイテ、別紙ノ通り醫療局長ニ照會シタ所、差支

ヘナイ旨回答ガアツタカラ、自今コノ要領ニヨツテ處理スルコ

トニスル。

(別紙)

二復員扶第一五號ノ九五

昭和二十一年七月二十三日

醫務局次長殿

復員廳第二復員局人事部長

復員海軍軍人、軍屬テ國立病院ニ入院中死亡

シク者ノ取扱ニ關スル件照會

首題ノ件、左記ニヨツテ處理シタイノデアルガ、コレニツイテ
貴見ヲ承知シタイ。

記

一 死亡通知

死亡者ノ親族又ハ身元引受人ニ電報スル等、貴局所定ノ手續
ヲナスト共ニ、左ノ事項ヲ、本人在籍ノ第二復員局人事部長
又ハ各地方復員局人事部長宛通知サレタイ。
右ノ場合通知先ノハツキリシナイモノハ、凡テ第二復員局人
事部長宛送付サレタイ。

本籍

官等級、氏名、生年月日、電報符又ハ入籍番號

戸主ノ氏名及ビ戸主トノ続柄

入院年月日及ビ傷病名並ニ發病年月日

死亡年月日時

死亡ノ場所

死亡ノ事由

遺族現住所

其ノ他參考事項

二 戸籍抹消

(イ) (ロ) (ハ) (ニ) (ホ) (ヘ) (ト) (チ) (リ)

第二復員局人事部長又ハ各地方復員局人事部長ハ前項ノ通知
ニヨツテ、戸籍法第百十六條ノ規定ニヨル戸籍抹消手續キヲ
行フカラ、コレニ添付ヲ要スル死體檢案書又ハ死亡診斷書ヲ
貴局ニ於テ調製ノ上(二通)ヲ、前項死亡通知ト共ニ、夫々
ノ人事部長宛送付サレタイ。

三 死亡者中、職役者トシテ取扱フヲ要スル者ニツイテハ、第
一項ノ通知ニ基キ、夫々第二復員局人事部長又ハ各地方復員局
人事部長ニ於テ處理スル。

四 遺骨ハ最寄リノ地方復員局人事部長ニ移管サレタイ。
但シ遺族ノ要望ガアレバ、適宜前渡シサレ差支ヘナイ。

尚コノ場合ハ夫々第二復員局人事部長又ハ各地方復員局人事
部長ニ通知スルト共ニ、後日正式ノ英靈傳達式施行ノ際ハ遺骨受
領濟ノ旨申シ出ルヤウ遺族ニ傳ヘオカレタイ。

復員廳第二復員局公報 第三〇號

昭和二十一年八月二十九日(木) 第二復員局文書課

○通牒

復員第一八七號

昭和二十一年八月二十三日

復員廳第二復員局總務部長

關係各廳長殿

特別保管艦艇保管實施要領ノ件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通り定メラレタカラ了知サレタイ。

(別紙)

特別保管艦艇保管實施要領

一 特別保管艦艇トハ一九四六年六月十八日(Cable Tap Code)ニヨリ引揚輸送又ハ掃海任務ヨリ除カレ將來ノ處理方決定スル迄保管セシメラレル艦艇ヲ謂ヒ其ノ保管等ハ本實施要領ニヨル。

二 艦船ガ特別保管艦艇ニ定メラレタ場合ニハ中央ヨリ關係各部ニ對シ左ノ事項ヲ指令スル。

(イ) 保管艦名及保管地名
(ロ) 保管地ヘノ回航要領
(ハ) 其ノ他必要ナ事項

三 保管地ヲ管轄スル地方復員局長ハ右指令ヲ受領セバ速カニ

該艦艇ノ泊地(繫留浮標番號又ハ繫留岸壁名等)ヲ所要ノ向ニ通知スル。

四 特別保管艦艇ニ指定セラレタ艦船ハ中央指令ニ依リ保管地ニ廻航シ指定ノ泊地ニ就キ之ヲ當該復員局長ニ報告スル。

五 當該復員局長ハ特別保管艦艇入港後ナルベク速ニ次ノ諸作業ヲ保管艦艇ニ實施セシメ(特別保管作業實施標準附表ノ通)作業終了セバ之ヲ所要ノ向ニ報告(通報)スル。

(イ) 現狀報告及保管物件目錄提出

現狀報告(現役務欄ニ繫留浮標番號又ハ岸壁名ヲ附記スル。以下之ニ同シ)及ビ保管物件目錄ヲ作成シ之ヲ中央ニ五通、地方復員局ニ二通提出シ寫一通ヲ自艦ニ保存スル。

(ロ) 現狀調査

地方復員局ハ前項保管物件目錄ニ基キ速ニ現狀調査ヲ行フ之ヲ爲關係地方復員局ハ豫メ現狀調査委員ヲ編成シテ置ク其ノ編成要領ハ左ノ通デアル。

委員長 地方復員局長
委員 總務、運航、造修、經理、補給、通信、醫務關係適宜

其ノ他地方復員局長ノ定ムル者

右ノ外物件陸揚及ビ保管群ノ編成終了時及ビ地方復員局長

復員廳第二復員局公報 第三〇號 昭和二十一年八月二十九日

六九

1726

所定時現狀調査ヲ行フ。

(ハ) 乗員ノ異動交替

乗員ハ各職階ヲ通ジ其ノ約二分ツ一ヲ本籍地方復員局(巡航部)ニ轉勤セシメル。但シ元士官又ハ特務士官准士官ノ異動ハ中央又ハ關係地方復員局ヨリ發令スル。

(ニ) 保管群ノ編成

(一) 各地方復員局長所定ニ依リ成ルベク同型艦六隻ヲ以テ一群ヲ編成シ速ニ基準保管艦名及ビ編成要領ヲ電報デ報告スルモノトスル。

編成標準別紙ノ通

(二) 各群ニ一隻ノ基準保管艦ヲ置キ基準保管艦ニハ定員表ニヨル定員ヲ置キ(缺員ハ補充スル)其ノ他ノ特別保管艦(以下通常保管艦ト稱ス)ニハ左ノ保管員ヲ置ク。

二級事務官(先任將校職務執行者)

應急部員

電機部員

機械部員

艦部員

通常保管艦ハ物件陸揚其ノ他保管狀態方概成シタナラバ右保管員以外ノ乗員ヲ所在巡航部ニ轉勤セシメル。

(ホ) 保管實施

(一) 保管群ノ責任ハ基準保管艦々長之ニ任ズルモノトスル。

(二) 保管艦艇ハ出動ノ指令受領後二十日以内ニ出動可能ノ状態トシテ置クコトヲ建請トスル。

(三) 颱風其ノ他不慮ノ事態ニ即應シ保安ニ遺憾ナイ様ニスルコト。

基準保管艦々長ハ作業員ヲ要スル場合之ヲ地方復員局(巡航部)ニ要請スルコトヲ出來ル。

(四) 搭載物件ヲ左ノ通トスル。

(1) 燃料 各艦共滿載ノ二五%以下

(2) 需品、被服、糧食、治療品、酒保物品等

(a) 基準保管艦 備品ハ全部、糧食ハ乗員ノ一ヶ月分以內其ノ他ハ必要最少限度保有スル。

(b) 通常保管艦 備品ハ全部、第一種需品ノ消耗品ハ必要最少限度保有スルモノトシ其ノ他ハ全部陸揚スル。

(3) 機關部分品機裝品ハ搭載ノママトスル。

(五) 整備

船體機關各部ノ整備ニ對シテハ特ニ留意シ要スレバ各巡航部内ニ整備班ヲ編成シ置キ整備ニ協力サセルモノトスル。尙各復員局長所定ニヨリ臨時整備査閱ヲ實施スル。

六. 日課週課上陸休暇

(イ) 日課週課上陸休暇ハ各基準保管艦々長指揮ノ下ニ保管群毎ニ統制實施スル。

(ウ) 日課週課上陸ハ從來通

(ハ) 休暇

(一) 特別保管艦艇乗員

保管状態完成後左ニヨリ休暇ヲ許可スル。

- (1) 基準保管艦 乗員半數宛ニ對シ各自十日宛
- (2) 通常保管艦 保管員ノ半數宛ニ對シ各自十日宛

但シ右ニヨル缺員ハ當該群基準保管艦ヨリ補充スル。

- (3) 休暇ハ歸艦ノ指令受領後三日以内ニ歸艦シ得ル範圍内ニテ許可スル、三日以内ニ歸艦不能ノ者ニ對シテハ

特ニ基準保管艦々長ノ許可ヲ要スル。

此ノ場合基準保管艦々長ハ當該員ヲ速カニ歸艦セシムベキ處置及缺員出動ノ場合ノ對策ヲ講ジテ置ク。

- (4) 休暇中在艦者ノ上陸ハ二分ノ一以内トスル。

(5) 休暇中保安其ノ他必要アル場合ハ基準保管艦々長ハ所要ノ作業員ヲ地方復員局(運航部)ニ請求スルコトガ出來ル。

(二) 運航部ニ轉勤シタ者(解員者ヲ除ク)ノ休暇ハ艦艇乗員ニ準ジ各地方復員局長所定ニヨリ實施スル。

特別保管艦艇出動ヲ要スル場合ニハ中央ヨリ關係各部ニ對シ左ノ事項ヲ指令スル。

- (イ) 出動艦船名
- (ロ) 行動豫定
- (ハ) 其ノ他必要ナル事項

八 關係地方復員局長ハ右指令ヲ受領シタラバ速ニ次ノ諸作業ヲ實施シ出動可能期日ヲ所要ノ向ニ報告(通報)スル。

(イ) 乗員ノ補充

乗員ハ定員表ニヨル全定員ヲ補充スルノヲ建前トシ主トシテ所在ノ運航部ヨリ充足スル。

但シ元士官ノ異動ハ中央ヨリ發令スル。

定員ヲ變更スル必要アル場合ハ其ノ都度中央ヨリ指令スル。

(ハ)(ロ) 燃料糧食需品等搭載

試運轉 要スレハ自差修正

但シ使用燃料ハ十二節五時間以内トスル。

(ニ) 現狀調査 出動ニ必要トスルモノノ不足ガナイカヲ検査スルノヲ主眼トスル。

(ホ) 現狀報告 保管物件目錄提出

出港前日附テ現狀報告及保管物件目錄ヲ提出スル提出部數第五號(イ)項ニ同ジ

(ヘ) 其ノ他保管群ノ改編又ハ基準保管艦ノ變更等所要ノ措置ヲ講ズル。

九 出動艦ハ所定通行動シ所要ノ發着電報ヲ行フ。

一〇 報告要領

(イ) 特別保管艦艇長(保管群ヲ編成シタ場合ニハ基準保管艦々長)ハ保管状態完成時及毎月一日現在ニテ速ニ第五號(イ)項要領ニ依リ現狀報告及保管物件目錄ヲ調製提出ス

ル(書類報告)。

(ロ) 各地方復員局長ハ特別保管艦艇保管状態完成時及毎月一日現在ニテ各特別保管艦艇ノ繋留浮標番號又ハ岩壁名乗員現狀及船體機關各部現狀ヲ現狀報告現狀摘要區分ニ從ヒ甲乙丙ニ分チ電報報告スル。

但シ甲乙丙ノ區分ハ左ニ依ル。

甲ハ完備 乙ハ完備迄二十日以内ヲ要スルモノ。

丙ハ完備迄二十日以上ヲ要スルモノ。

一一 經費、保管實施上特ニ要スル經費ハ保管地方復員局經理部宛協議スルコト。

一二 保管實施上特ニ留意スベキ事項

(イ) 終戦時ノ混亂シタ物品處理ノ苦イ體驗ニ鑑ミ上下一致自發的責任感ヲ以テ特ニ物品ノ保管及ビ取扱ヲ嚴正ニ行ヒ苟クモ非違行爲發生セザル様之方豫防措置ニ遺憾ナイ様ニスルコト。

(ロ) 萬一不幸ニシテ非違行爲アル場合ニハ單ニ非違ニ對スル科ノミナラズ聯合軍指令ニ違反シタ科トシテ處罰サレルカラスカル場合ニハ迅速且斷乎タル處置ニヨリ曲直ヲ明ラカニサレタイ。尙此ノ點ニ就イテハ聯合軍ニ於テモ極メテ重視シテ居リ要スレバ非違者ニ對シテハ聯合軍ニテ之ヲ處斷スル意向ガアルカラ特ニ萬遺憾ナイ様ニスルコト。

備考

一 特別保管艦艇解撤ト決定シタ場合ハ聯合軍ノ指令ニ基キ

附表

特別保管作業實施標準

作業實施日	同所要日數	作業
第一日	一日	指定泊地着現狀報告 保管日録提出
第二日	一日	乗員二分ノ一轉勤
第三日	三日	現狀調査
第六日	五日	物件陸揚
第十一日	一日	基準保管艦ハ補充、通常保管艦ハ保管員以外轉勤
第十二日	二日	現狀報告、保管日録提出、現狀調査
第十四日		保管状態完成、休暇開始

(註)

本標準ハ元軍艦ニ適用スベキモノゾ小艦艇ニ於テハ現狀調査及物件陸揚期間ヲ半減スルノ適當トスル。

(別紙添)

中央ヨリ左ノ通指令スル。
 (イ) 内務省ニ引渡日時
 (ロ) 解撤請負工場名
 當該地方復員局長ハ出先内務省機關ニ之ヲ引渡シ更ニ出先大藏省機關ヲ經テ請負工場ニ引渡スモノトスル。
 二 解撤實施要領ハ別ニ定メル。
 (終)

特別保管艦艇保管群編成標準

1. 横須賀

艦種	群番號	艦名	隻數
驅逐艦	1	花月、春月、夏月、宵月、雪風、波風	6
	2	初櫻、響、夕風、萩、葛、柿	6
	3	{ 莖、樺、桐、楠、竹 CD 34	6
海防艦	4	福江、保高、生野、四阪、倉橋、屋代	6
	5	CD 37、CD 105、CD 107、CD 49、CD 77、CD 71	6
	6	CD 48、CD 76、CD 14、CD 16、CD 36、神津	6
	7	T-9、T 13、T 16、T 19、T 110、T 147	6
	8	{ 掃23、掃102、掃特21、掃特22 神島、石崎	6
	9	No. 11、12、13、14、17、18	6
輸送艦	10	1、4、27、58、68、72	6
	11	78、88、155、159、161、171	6
	12	181、183、185、194、196、202	6
	13	{ 203、212、221、241 No. 31、34	6
	小計		78

2. 佐世保

艦種	群番號	艦名	隻數
驅逐艦	1	{ 櫻、雄竹、杉、楓、波勝(標的) 若鷗	6
	2	志賀、鶴來、竹生、生名、宇久、金輪	6
	3	波太、對馬、樺提、隱岐、CD 55、CD 57、	6
	4	CD 27、CD 79、CD 215、CD 221、CD 227、CD 217	6
	5	CD 58、CD 78、CD 106、CD 118、CD 126、CD 142	6
	6	CD 150、CD 26、CD 40、CD 102、CD 156、CD 8	6
	7	CD 44、CD 52、CD 60、CD 192、CD 194、CD 196	6
	8	CD 198、CD 12、CD 22、CD 104、CD 154、CD 32	6
輸送艦	9	{ T 20、T 137、T 172 箕面、粟島、濟州	6
	10	{ 白崎、荒崎、早崎 No. 38、雉(水雷艇)	5
	11	No. 71、80、89、90、93、99	6
	12	154、158、168、169、173、231	6
	13	234、247、249、250、哨戒艇176、掃特16	6
小計		77	

3. 舞鶴

艦種	群番號	艦名	隻數
驅逐艦	1	{ 初梅、樺、榎、楨、椎 掃21	6
	2	{ 奄美、占守、新南 黑神、片島	5
海防艦	3	CD 67、CD 81、CD 85、CD 87、CD 205、CD 207	6
	4	CD 26、CD 40、CD 102、CD 156、CD 158、CD 160	6
	5	No. 57、157、162、166、184、219	6
	6	236、79、86、164、174、175	6
	7	186、187、198、214、215、217	6
	8	222、227、232、239、245、246	6
	9	179	1
	10	84、135、136、137、138、139	6
	11	152、153、175、179、191、154	6
	小計		60
合計		215	

備考

- 横須賀繫留艦船ハ横須賀港内(含長浦)ニ繫留スルモノトスル
- 本表保管群番號ハ全艦船同時繫留ノ場合ノモノニシテ逐次繫留ノ場合ハ1946年6月18日 Com Nav Jap Serial 846 指令ニ添フ如ク適宜六隻宛繫留スルモノトスル
- 繫留ニ關シテハ現地聯合軍ト連絡ノ上整備補給ニ便ナル場所ヲ選定スルモノトス

1730

復員廳第二復員局公報

第三一號

昭和二十一年八月三十日(金) 第二復員局文書課

○令 達

復二第一八七號

元驅逐艦、汐 風

右ヲ特別輸送艦トシ横須賀地方復員局所管ト定メル。

昭和二十一年八月二十日

復員廳總裁

復二第一九二號

復員廳分課規程中次ノヤウニ改正スル。

昭和二十一年八月二十五日

復員廳總裁

別紙第二第二十八條ノ表中吳地方復員局ノ項掃海部ノ欄「仙崎」ヲ削ル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

○通 牒

復二第一九三號

復員廳地方復員局定員表(內譯)中次ノヤウニ改正サレタ。

昭和二十一年八月二十五日

復員廳第二復員局公報 第三一號 昭和二十一年八月三十日

復員廳第二復員局長

吳ノ部中仙崎掃海部ノ項ヲ削リ「三〇九」ヲ「二九八」ニ、「一〇五五」ヲ「一〇二五」ニ、「一、六三四」ヲ「一、六一五」ニ、合計ノ項「一、二七一」ヲ「一、一六〇」ニ、「三、五二九」ヲ「三、四九九」ニ、「六、三七九」ヲ「六、三六〇」ニ改メル。

(參照 六月二十日第二復員局公報)

復二第一九四號

昭和二十一年復二第七號復員事務官ノ定員ニ關スル件中次ノヤウニ改正サレタ。

昭和二十一年八月二十五日

復員廳第二復員局長

吳地方復員局ノ項中「六〇」ヲ「四九」ニ、「三七九」ヲ「三四九」ニ、計ノ項「二五九」ヲ「二四八」ニ、「二八二」ヲ「二五二」ニ改メル。

(參照 六月十九日第二復員局公報)

二復經獎第三〇〇號ノ一

昭和二十一年八月十四日

七三

1731

復員廳第二復員局總務部長
復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長
特別輸送艦艇長 殿

日用品等配給ニ關スル件改正ノ件通牒

昭和二十年二復經理局第一號通牒首題ノ件第一號(ロ)項表(3)ノ中
ノ「元海軍病院タリシ」ヲ除ク。
(註 元陸軍病院タリシ國立病院ニモ配給スルノ意ナリ)

二復經契第三〇〇號ノ二

昭和二十一年八月十四日

復員廳第二復員局經理部長

關係各廳長
特別輸送艦艇長 殿

日用品等配給品種標準改正ニ關スル件通知

二復經契第三〇一號ノ一〇通知ノ首題標準別表中「元海軍病院
タリシ國立病院收容中ノ患者」ノ欄ノ「元海軍病院タリシ」ヲ
除ク。

○ 雜 款

○ 郵便物發送先

長崎地方世話部第二復員課 長崎市萬里町二九

特別輸送艦 竹 佐世保郵便局氣付

同 海第四〇號 同

同	夕	風	横須賀市横須賀運航部氣付
同	荒	崎	吳市吳地方復員艦船運航部氣付
同	波	太	福岡市海岸通り二丁目
同	雄	竹	博多運航部氣付
同	雄	竹	若松市九州造船所氣付

○ 事務所

七月二十六日移轉 和歌山地方世話部第二復員課

和歌山市秋月海草中學校内

(紀勢西線東和歌山驛下車。電話和歌山市内六四番)

七月三十一日閉鎖 新潟掃海部

七月三十一日受人業務停止 下關上陸地連絡所

九月一日閉鎖ノ豫定 (前後ハ下關市新町三丁目 下關上陸地連絡所殘務整理班)

七月三十一日閉鎖 吳地方復員局補給部徳山出張所

八月九日移轉 門司上陸地連絡所

門司市仲町二丁目吳地方復員局下關掃海支部門司出張所内

(電話門司一六五番)

